

メディカル・プロフェッショナルリズムⅣ

科目責任者 山内 かつ代
学年・学期 4 学年・1 学期

I. 前 文

メディカル・プロフェッショナルリズムとは、「人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていくこと」とされています。すなわち、医師には社会から信頼され、思いやりを持って他者に接する態度などの医師に相応しい資質や能力が求められており、プロフェッショナルリズムはその最上位として医学教育モデル・コア・カリキュラムに挙げられています。獨協医科大学では順次性を持った6年一貫の「メディカル・プロフェッショナルリズム (D-Mep)」に能動的に参加することで、医師としてのプロフェッショナルリズムを涵養します。D-Mepでは、各学年の単位認定要件として「良き医師となるには」をテーマとしたレポート課題を実施し、医療に対する考え方や年間を通じた学修の軌跡を学生自身が振り返り、次年度に向けた目標を立てながら学修を進めます。

D-MepⅣでは、D-MepⅠおよびⅡで学修したベーシックおよびアドバンスド・コミュニケーションスキルを基盤として、医療現場に特化したコミュニケーションスキルの習得を目指します。また、D-MepⅡで実施した医看合同授業におけるチーム医療の学修をさらに発展させ、多職種連携の理解を深めます。

加えて、医療経営と金融の基礎的な考え方を学び、医師として医療を取り巻く社会的・経済的背景への理解を深め、さらに、将来どのような医師を目指すのかについて熟考し、自身のキャリア形成を言語化することで、各自の目標を明確にします。

本講義では、白衣式の実施にあたり、これまでに学修してきた内容を踏まえ、将来医師として活躍するための「誓いの言葉」を作成します。

II. 担当教員

主任教授	山内 かつ代	医学教育学
主任教授	豊田 豊	心臓・血管/循環器内科
准教授	山岸 秀嗣	教学IRセンター (コーディネーター)
講師	白木 孝之	肝・胆・膵外科
講師	上杉 奈々	医学教育学
副学長	種市 洋	
特任教授	吉村 健佑	千葉大学 医学部附属病院 次世代医療構想センター
特任教授	大磯 義一郎	浜松医科大学 法学

III. 一般学習目標

- ・プロフェッショナルリズムの視点から、医学生に求められる態度および行動を説明できる。
- ・コミュニケーションの視点から、人としての信頼や思いやりを形成する行動をとることができる。
- ・チーム医療を理解し、医師として必要な知識および技能を説明できる。
- ・医師のキャリア形成について説明できる。
- ・将来の医師像について考え、自身の言葉で言語化できる。
- ・医療経営と金融との関係について説明できる。

IV. 学修の到達目標

- 1) 社会から信頼を得るために必要な事項を常に意識し、行動することができる。
- 2) 品格と礼儀をもって他者を理解し、思いやりをもって接することができる。
- 3) 他者のプライバシーや苦痛に配慮し、非言語コミュニケーションを含む適切なコミュニケーションスキルを用いて、

良好な人間関係を構築することができる。

- 4) 自他の役割を踏まえ、協働する職種との信頼関係を構築し、互いの知識・技術を活かしながら、自己の職種としての役割を果たすことができる。
- 5) 医療における倫理の重要性を理解し、医師として適切に行動することができる。
- 6) 医師としての将来像を具体的に説明することができる。
- 7) 医療経済の基本的概念を理解し、金融機関との関わりについて説明することができる。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)

2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション

6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	5	8	金	1	良き医師となるには①	種市 洋 山岸秀嗣, 他	
2		8	金	2	良き医師となるには②	種市 洋 山岸秀嗣, 他	3
3		8	金	3	良き医師となるには③	種市 洋 山岸秀嗣, 他	3
4		8	金	4	アドバンスド・チーム医療 (医看合同授業) ①	白木孝之, 他	3
5		8	金	5	アドバンスド・チーム医療 (医看合同授業) ②	白木孝之, 他	3
6		8	金	6	アドバンスド・チーム医療 (医看合同授業) ③	白木孝之, 他	5
7		11	月	1	医師のキャリア形成①	大磯 義一郎 吉村 健佑	3
8		11	月	2	医師のキャリア形成②	大磯 義一郎 吉村 健佑	2
9		11	月	3	医師のキャリア形成③	大磯 義一郎 吉村 健佑	2
10		11	月	4	医の倫理 (医看合同授業) ①	上杉奈々, 他	3
11		11	月	5	医の倫理 (医看合同授業) ②	上杉奈々, 他	3
12		11	月	6	医の倫理 (医看合同授業) ③	上杉奈々, 他	3
13		12	火	1	医療経営と金融 ①	足利銀行	3
14		12	火	2	医療経営と金融 ②	足利銀行	3
15		12	火	3	医療経営と金融 ③	足利銀行	3
16		12	火	4	メディカル・コミュニケーションスキル①	豊田 茂	3
17		12	火	5	メディカル・コミュニケーションスキル②	豊田 茂	3
18		12	火	6	メディカル・コミュニケーションスキル③	豊田 茂	3

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

【単位認定要件】

第18回（最終回：メディカル・コミュニケーションスキル③）にて課す「良き医師となるには」のレポートの提出をもって、D-MepIVの単位認定要件とする。このレポートでは、この段階で自分自身が考える医師像とそれを達成するために必要な自己の目標を設定し、ポートフォリオに記録するものとする。

【成績評価】

各回のレポート評価の平均点を素点（100点満点／小数点以下は切り捨て）とし、60点以上を合格とする。

なお、各テーマにおいて2/3以上の出席がない場合は、当該テーマの成績については評価対象としない。

【特筆すべきアンプロフェッショナルな態度への対応】

D-Mep において「特筆すべきアンプロフェッショナルな態度」とは、以下の5点をいう。

いずれかに該当する場合は、減点 または 単位認定を保留 とする。

- 1) 講義・演習への無断遅刻（一切認めない。10分以上の無断遅刻は無断欠席とみなす。）
- 2) 講義・演習への無断欠席（一切認めない。）
- 3) 講義・演習に臨む姿勢が極端に消極的 又は 医師を目指す者として不適切 と認められる場合
- 4) 「まとめと試験」等成績評価にかかる考査実施における不正行為（本学医学部試験及び成績評価に関する規程を準用する）
- 5) レポートにおける剽窃（盗用）行為（同上）

VII. 教科書・参考図書・AV資料

参考図書・参考文献については、以下のほか、講義時に適宜紹介する。

- 1) 大生 定義「プロフェッショナリズム総論」, 京府医大誌 120 (6), pp395-402, 2011

VIII. 質問への対応方法

問い合わせ先：コーディネーターへメール（yamagisi@dokkyomed.ac.jp）で連絡し、指示を仰ぐこと。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

各担当教員から提示します。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（20分）：シラバスを参考に授業の要点を確認すること。

事後学習（30分）：講義の内容をまとめること。

各授業の詳細な事前学修・事後学修については，各担当教員により説明する。

XII. コアカリ記号・番号

PR-05-01, GE-01-03, IP-01-01, IP-01-02, IP-02-04